

特集：SDGs (Sustainable Development Goals) に貢献する
教育システム

SDGs の概要と動向および金沢工業大学における ESD の取り組み

平本 督太郎^{*,**}, 北川 達也^{*,**}

Overview and Trends of SDGs and ESD Initiatives at Kanazawa Institute of Technology

Tokutaro HIRAMOTO^{*,**}, Tatsuya KITAGAWA^{*,**}

The SDGs are now attracting attention all over Japan, but nowadays the SDGs are booming and misunderstandings are spreading. Therefore, in this paper, we will start by reconsidering the SDGs from three important perspectives. The three important perspectives are “Global scale”, “Backcasting”, and “No one will be left behind”. In addition, we will introduce global research trends as trends in the SDGs, and consider how changes in the world due to the spread of coronavirus infection will affect research trends. Finally, the practice of ESD is emphasized as one of the success factors for achieving all the goals of the SDGs. So, as major ESD initiatives being implemented at Kanazawa Institute of Technology, we will introduce initiatives related to “problem-solving classes on the theme of SDGs” and “SDGs innovation education base schools”.

キーワード：SDGs, ESD, 問題解決型授業, ゲーミフィケーション, 探究活動

1. はじめに

SDGs (持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals) がいま日本中で注目されている。SDGs とは、国連加盟国 193 国が合意をした世界共通の目標である。具体的には、17 個の目標と 169 のターゲットから構成された目標である。SDGs の各目標・ターゲットには、世の中に存在するさまざまな問題が内包されている。例えば、日頃の生活ではあまりなじみがない食糧危機や再生可能エネルギーといった地球規模のテーマから、最近日本でも耳にすることが多い女性活躍や働き方改革といった身近なテーマや、この 1~2 年でよく耳にするようになった食品ロスや海洋プラスチックも SDGs に内包されている。そのため、

数多くの自治体の県知事や市長が地域における SDGs の達成に向けた活動に注力をすることを宣言している。さらに、各地で市民団体、教育機関、経営者団体、企業等、さまざまな組織が自発的に SDGs の達成を目指した活動を展開している。特に、地方の経営者達の活動は日に日に活発になってきている。

また、SDGs は世界各国が合意をした世界共通の目標であるため、各国の首脳はもちろん、ビルゲイツ氏のような誰もが知る経済人も目標の達成に強くコミットしている。そのため、SDGs の達成に向け、従来のビジネスの前提となっていた法律や規制等のルールが変更されてきている。そして、すでに企業間取引にもその影響は及んできている。

このような状況のなか、SDGs を正しく理解し実践

* 金沢工業大学情報フロンティア学部経営情報学科 (Department of Management Systems College of Informatics and Human Communication, Kanazawa Institute of Technology)

** 金沢工業大学地方創生研究所 SDGs 推進センター (Institute for Regional Revitalization and Innovation, SDGs Promotion Center, Kanazawa Institute of Technology)